

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」御殿場校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	2	部屋数が少なく狭いため、パーティション等で区切り活動を行っている。物の配置・壁面の整理など物理的・視覚的な工夫を行い、スペースを確保することが必要。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	0	0	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	3	建物・室内の構造上、対応できない所があるが、片付けて動線を確保することや、利用者の方に声を掛けて対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	0	申し送り等は行なっているが、より良いサービスのための職員同士の話の場を設けていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	保護者の方の意見を支援や環境構成に取り入れていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	5	内部の評価のみ。現在実施なしだが法人で第三者評価の導入を検討中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	自立支援協議会への参加。事業所内、他校舎との交流研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	モニタリングを行い、子どもと保護者の方の希望に沿えるように全体で共有し、構築している。しかし、知識不足と感じる面もあるため、今後も学んでいきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	事業所独自のアセスメントツールを使用。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	本人・保護者の方のニーズに合わせて小集団の活動を実施し、そこに合わせた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	1	全体での打合せは必要に応じて行っている。毎時、前回の担当者と個別での共有が中心。急な対応等で打合わせができない場合は以前の支援記録を確認して状況を把握している。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	1	療育時間の関係上、翌日以降になることが多く、共有までに時間があいてしまうことがある。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	0	
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	職員、保護者の方の意見を踏まえて計画を再構築している。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	6	1	0	
関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	会議に参加し、情報共有を行なっている。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	5	0	保護者の要望に応じて行っていく。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	0	現在医療的ケア児の受け入れは行っていない。今後、必要に応じて体制を整えていく。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	0	要望があった際には積極的に参加している。職員間でも情報共有をしていく。今後も保護者からの要望があれば参加し、相互理解に努めていく。
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	今の所ないが、必要に応じて提供していきたい。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	基本情報などを確認することや、計画の方向性を相談している。
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	保護者からの要望があれば実施を検討していく。
	⑩⑰	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	0	協議会に積極的に参加し、理解に努めている。
保護者への説	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	フィードバックは保護者の方に理解しやすいように丁寧に行うことを心がけている。
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	ペアレントトレーニングはあまり行っていないが、より力になれることを全体で探していきたい。また、研修等で学び、質の向上に努める。
保護者への説	⑩⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	保護者の方に直接話し、丁寧に説明をしている。
	⑩㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	0	できる限り丁寧に対応しているが、研修などで質の向上に努めていきたい。

明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	2	検討しているが、時間調整が難しく、実施できていない状況。早めのお知らせや時間設定などを行なって、実施できるようにしていきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	1	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	ブログで活動の紹介をしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	関わり方や、カードの提示などで表出がしやすい工夫をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	4	守秘義務の関係で招待が難しい状況。町内会に入って地域に認知していただいている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	各マニュアルの作成、回覧を職員間で行っている。玄関に掲示。
非 常 時 等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	0	防災委員会の設置・会議参加。月に1回以上、防災に関する話し合いや訓練を行っている。災害に備えて備品装備を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	内部や外部研修に参加。重要事項説明書に記載。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	委員会を設置・会議参加。虐待や身体拘束についての話を共有している。重要事項説明書・個別支援計画書にも記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	1	食事場面なし。アレルギーの有無は確認しており、活動で使用するものには配慮を行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	申し送りを直接行い、その後に報告書を作成・保存している。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」御殿場校      保護者等数（児童数）： 68    回収数： 50    割合： 73.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	45	3	2	・子どもが楽しく過ごせるスペースだと思う。 ・限られたスペースの中で仕切りもあり、工夫されている。 ・児に合わせた療育の提供ができるよう、利用時間や活動内容の調整・再検討を行っていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	49	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	26	4	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	50	0	0	・私たちと課題（方向性）がいつも同じで計画されているので、ありがとうございます。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	48	2	0	・毎回違うプログラムで子どもも楽しい。 ・先生同士で話し合いができていて工夫されている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	20	12	現在活動機会なし。要望に応じて検討していく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	49	0	1	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	50	0	0	・きらりでの過ごし方を分かりやすく説明してくれてとても助かる。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	50	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	24	9	要望をいただいているが今年度は開催できず。今後、要望に合わせた機会を提供できるよう検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	11	0	・苦情を言ったことがない。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	50	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40	9	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	50	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38	12	0	周知が不十分のため、玄関などに掲示していく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	18	0	周知が不十分のため、玄関などに掲示していく。 HP等で訓練内容を共有・発信していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	42	2	0	・時による。 ⇒楽しみにしてもらえるようなプログラムを提供し、日々職員同士で情報共有をしながら、サービスの質の向上に努めていく。 ・とても楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	44	0	0	・自宅できないこともやっていたので、子どもの息抜きになっていると思います。 ・子どもが伸び伸びと自分らしく過ごせる場所に通うことができとても幸せに思っています。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。